東京大学 職員採用案内2021

東大を創ろう

知と未来をつなぐ仕事。

「松乃栄(まつのさかえ)」は「旧幕府の姫君加州家へ御輿入の図」という副題を持つ資料で、東京大学総合図書館に貴重書として所蔵されています。

この資料は、文政10(1827)年に徳川第11代将軍家斉の第21女・溶姫が加賀藩第13代藩主前田斉泰に輿入れしたときの様子を、三代歌川国貞が想像を交えて描いた錦絵です。東京大学のシンボルの一つである「赤門」は、このとき溶姫を迎えるため建立されたもので、白無垢の花嫁衣裳に身を包んだ溶姫が、豪奢な行列を従えて赤門をくぐる図は当時の華やかさを今に伝えています。

『松乃栄』　東京大学総合図書館所蔵「松乃栄」公開サイト　https://iiif.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/repo/s/matsunosakae/

東大で、働く。

東京大学は、1877年に創設され、
2017年に140周年を迎えた国内最大規模の総合大学です。
私たちは、これまでの蓄積をふまえつつ、
世界的な水準での学問研究の牽引力であること、
あわせて公正な社会の実現、
科学・技術の進歩と文化の創造に貢献する、
世界的視野をもった市民的エリートが育つ場であることを目指しています。
この知と創造のエネルギーが躍動するキャンパスを、
あなたの仕事場にしてみませんか。

THE UNIVERSITY OF TOKYO

今こそ大学職員の出番
～地球と人類社会の未来に貢献する「知の協創の世界拠点」を共に創る～

今、デジタル革命と呼ばれる技術革新により、われわれが慣れ親しんだ、モノ中心の資本集約型の社会から、知識集約型という新しいモデルへとパラダイムシフトが起きています。一方、東京大学にはさまざまな分野の多様な才能が国境を越えて集まっており、長い年月をかけて培ってきた知恵の蓄積、そして国内外に広がる人材ネットワークがあります。大学はこうした知識交流のプラットフォームとして社会、産業構造全体のパラダイムシフトに貢献し、転換を先導する潜在力があると考えています。大学の役割が拡張するのです。

国立大学法人には人事、財務、施設管理等のあらゆる面で自律的な「経営」が一層求められています。東京大学は、「地球と人類社会の未来に貢献する『知の協創の世界拠点』の形成」という将来構想を掲げ、2017年6月30日に指定国立大学法人の指定を受けました。私たちは、この指定を最大限に生かし、学生や研究者がこれまで以上に力を発揮できるように、教育研究環境や、大学が社会とより深く協働するための環境を充実させてきました。従来の個対個の産学連携を越えた組織対組織の産学協創、多額の民間資金を活用する仕組みの構築など、多様な取り組みにより、大学自身が主体的に価値創造を担う経営体となり、リスク投資の受け皿となることも可能であるとの感触を得ています。そのためには、従来にない発想で、創意工夫を重ね、現代型の新しい大学経営モデルを作っていく必要があります。大学が大きく変わろうとしている今、まさに大学職員の出番なのです。

東京大学は、日本で一番働きやすい大学になることを目指し、職員の人事制度の改革や雇用環境の充実にも力を入れています。職員の皆さんが意欲を持って活き活きと活躍し、その能力を存分に伸ばしていけるよう、総長として全力で支援します。

21世紀の地球社会に貢献する東京大学を共に創っていきましょう。

国立大学法人東京大学総長　五神　真

東京大学の教育研究は、北海道から鹿児島県まで全国に広がる教育研究施設、30の海外拠点で行われており、約2万8千人の学生が学び、常勤教職員約8千人、特定有期雇用教職員約3千人が教育研究を担い、支えています。

知識基盤社会の到来により、東京大学への期待と役割はますます拡がっています。「東京大学ビジョン2020」の下、教員だけでなく、事務、施設、図書、情報、技術、医療系等の様々な専門分野の職員一人一人が「大学経営のプロフェッショナル」となり、広い視野と柔軟な発想力で自ら企画・提案し、改革を実現する要となることが期待されます。

東京大学では、教育・学生支援や研究推進のみならず、総合企画・広報、社会連携、産学連携、国際、施設、情報、病院経営など業務の範囲が非常に広く、様々な年齢層の職員が活躍できる場があります。また英語で業務を行う機会も格段に増えています。学外との人事交流も積極的に行っており、視野を広げ、成長できる機会が多くあります。仕事と生活とが両立できる様々な制度も整備しています。

東京大学は、仲間と共に果敢に改革に挑戦し、東京大学の未来を創り出す《あなた》を待っています。

理事　里見　朋香

YOUR NEXT STAGE

「東京大学で働くあなた」は、
どんな未来を歩んでいますか？

・Missions at UTokyo
・Cross Talk
・People at UTokyo
・Message from Leaders
・Career Support

より詳しい情報はこちら

数字で知る東京大学

名称
国立大学法人　東京大学

創立年月日
明治10年（1877年）4月12日

代表者
総長　五神　真

常勤教職員数
7,989名（2019年5月1日現在）
（教員3,863名、事務1,551名、技術548名、医療1,977名、他50名）

総学生数
28,485名（2019年5月1日現在）

令和元年度収入予算総額
2,611億円

図書総冊数
9,745,659冊（2019年3月31日現在）

土地面積
326,030,644㎡（2019年4月1日現在）

冊子「東京大学の概要」
https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/overview/book.html

冊子「IR×IR 東京大学 統合報告書」
https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/public-relations/IRIR.html

農学生命科学研究科附属 北海道演習林

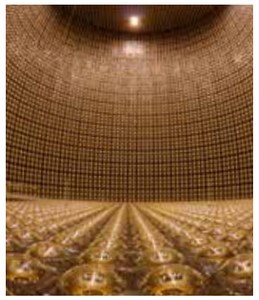
東京大学には、主要なキャンパスが3つあります（本郷、駒場、柏）。

これらの勤務地を中心に、北は北海道から南は鹿児島県まで、
全国各地に様々な研究所や施設が点在しており、
東大職員の仕事の幅は大きく広がっています。

108の国と地域から成る構成員と、30の海外拠点。

東京大学は様々な国と地域の教職員、学生で構成されており、
海外における教育研究活動も活発に行われています。
私たち職員も「知の協創の世界拠点」の形成に向けて、
高い語学力が求められています。

アタカマ天文台(チリ共和国)
©東京大学TAOプロジェクト



神岡宇宙素粒子研究施設
スーパーカミオカンデ

5人の宇宙飛行士、10のノーベル賞。

世界トップレベルの学生、研究者を支えることが出来る。
東大職員の仕事の最大の魅力の一つです。

10の学部、15の大学院研究科、
11の附置研究所、7つの全学センター、
2つの国際高等研究所研究機構、
そして28の連携研究機構があります。
そのほか、医学部附属病院のように、
学部・大学院研究科、附置研究所に附属する施設等もあり、
国内最大規模の総合大学として、
高度で多様な教育研究活動を行っています。

カブリ数物連携宇宙研究機構

学生の歩みを支える

教育・学生支援

学生の大学入学から卒業・就職・進学までをサポート。さらに、在学中の学修や海外留学・課外活動等において、学生がよりよいキャンパスライフを送るための支援をしています。

世界最先端研究の力に

研究推進

大学における研究環境の整備をサポート。研究関連事業の推進に係る企画立案、外部研究資金の戦略的獲得支援、研究に関するルールの策定や検証等を行い、最先端の研究を見えない部分から支援します。

大学運営の要として

総務

東京大学における法務・広報・庶務といった非常に広範囲の業務を担当。また、大学管理部門の中枢として、役員および教職員の業務がスムーズに遂行されるよう調整を行います。

東大人生のパートナー

人事

教職員の採用から退職までをサポート。プロフェッショナルな人材を養成するシステムの構築、戦略的な採用とキャリアプランニング、男女共同参画の推進のための環境整備などに取り組みます。

社会連携の展開と挑戦

社会連携

「社会とともに歩む東京大学」をテーマに、公開講座やオープンキャンパスによる教育・研究活動の発信、東京大学基金の企画運営、卒業生との連携事業の実施等を通して、社会とのネットワークづくりを推進します。

東大のファイナンシャルプランナー

財務

効果的な予算計画の策定、教育研究活動に必要な物品の調達、出張に伴う旅費の手続き、多様な資金運用の実施、資産の管理・運用、決算書の作成、財務情報の分析・開示など東京大学の経営を会計の面から支えます。

教育支援

研究推進

社会貢献

組織運営

Missions at UTokyo

これらは東京大学職員の
ミッションをあらわす4つのキーワードです。
職員の仕事は多岐にわたります。
教育現場や学生生活をサポートする仕事。
最先端の研究に推進力を与える仕事。
社会と大学との橋渡しを行う仕事。
そして、それら全てを支える大学組織の運営。
それらの使命を果たすため、
東京大学の部局（学部、大学院、研究所等）と
本部では、2000名以上の
事務・図書・技術職員が働いており、
一人一人が大学を動かす
大きなパワーとなっています。

※職種によって業務の範囲が異なります。
■：事務　■：図書
■：技術（施設系）　■：技術（教室系）

社会と研究を繋ぐ

産学連携

大学シーズを社会に、そしてイノベーションの創出へ。東京大学の創造研究から生まれる成果や知的財産の創造・マネジメント・活用を図り、社会を変えるイノベーションの創出に貢献します。

国民の健康と生活を支援

医療支援

高度な医療の実践、国際的に評価される医学研究、全人的医療人の養成という三位一体のミッションの達成を、様々な面からサポートします。

最先端研究のリスクマネジメント

環境安全衛生

教職員、学生の安全と健康の確保は、最先端の研究・教育活動の根幹をなすものです。法令を遵守し、安全で快適な研究教育活動および労働環境を確保するとともに、それを維持・向上させるために教職協働で活動します。

学術情報流通を通じた知の創出支援

図書

学術情報の収集・提供を通じて学習・研究活動をサポート。これまでに蓄積されてきた膨大な「知」を次の世代に継承するとともに、新たに創られる研究成果を世界に発信し、社会に還元します。

教育・研究を支える情報基盤を構築

情報システム

先端的情報技術を活用しインフラとコミュニケーション環境を整備するとともに、情報資源の最適化・効率化を実現し、迅速な意思決定、機動的運営を可能とする情報システム環境の構築と世界最高水準の教育研究と大学運営業務を支援するための情報サービスを提供します。

※技術（情報システム）共通

大学経営のプランナー

経営企画

本学の経営戦略を企画し、その戦略を実行するための総合調整や役員の業務支援、また、世界から人材の集うグローバル・キャンパスの形成及び国際的プレゼンスの向上を目指した国際戦略及び国際事業を担当。

インフラによる東大づくり

技術（施設系）

世界最高水準の教育研究を支えるキャンパスの創造。「歴史的環境の継承」と「魅力あるキャンパスづくり」により、世界トップレベルの学生・教職員の集積と地域の活性化を目指します。

正確な研究成果を生む力

技術（教室系）

専門的な知識・技術を通じて、学術研究を技術の面から担う。研究や実験・実習の技術支援と指導や、実験設備機器の開発・管理、実験結果の分析等を行い、正確な研究成果を生み出します。

CROSS TALK

Mana Inukai × Ryo Sukegawa

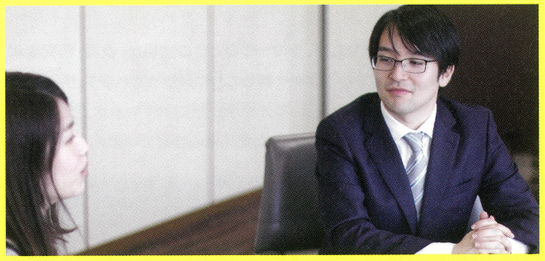
東京大学の未来を担う若手職員に
本学で働き感じること、本学を目指した理由、
そして東大職員の魅力を語ってもらいました。

―東京大学では、採用後、2～3年毎に異動をし、学部、研究所および本部で様々な仕事を経験します。お二人とも現在二つ目の部署ですよね。まずは、本学で働き感じたことを教えてもらえますか？

助川　最初に配属になった医学部附属病院では、科研費（※１）の受入れから報告までの管理や取りまとめを担当していました。担当件数が多いことや、一件で数億円になる大きい規模の科研費を扱うなど大変なことは多々ありましたが、一年目から責任ある仕事が任され、得ることの多い職場だと感じました。犬飼さんの最初の配属先は生産技術研究所総務課国際交流チームですよね。私とはまったく違う業務だと思うのですが、どんな仕事をしていたのですか？

犬飼　外国人研究者・留学生の受入れ、国際交流イベントの開催などに携わっていました。少し具体的にお話しすると、私が担当していた業務の一つに、外国人研究者のビザ取得手続きがあります。研究の世界は非常にスピード感があり、外国人研究者の来日が急遽決まることも少なくありません。せっかくの国際的な研究活動を停滞させないことが使命だと、日頃から在留資格に関する知識を増やし、手続きを短期間で確実に進められるよう努めていました。他にも来日までには、宿舎の申請や旅費の支給など色々な準備が必要で、息つく間もないこともありますが、無事に来日した研究者の姿を見られると達成感を感じます。

助川　外国人研究者とのやり取りが多い業務のようですが、使用する日本語と他言語の割合はどのくらいでしたか？

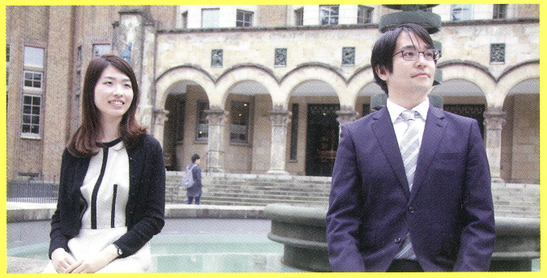


犬飼　日本語が七割程度ですね。普段の手続きでは受入教員や秘書の方とのやり取りが主ですが、住居や日本語教室の受講など日々の生活に直結する内容に関しては外国人研究者や留学生が直接オフィスに相談に来ることもあります。生産技術研究所はとても国際的な研究所で、廊下で外国人とすれ違うことも日常的です。また、毎週火曜日の昼休みには、研究者や教員、そして私たち職員が、国籍を問わず、ランチを持ち寄って英語で話す交流会を開催するなど、気軽に国際交流ができる環境でした。

―数ある企業、大学の中で、東京大学を働く場所として選んだ理由は何ですか？

助川　学生時代に社会科学系の学部で統計や経済について勉強し、経済が成長するときに技術革新や新しい技術の発達が重要であることを学びました。これをきっかけに、社会に大きい影響を与える技術革新や新しい技術の発達に間接的にでも関われる仕事は何だろうと考えた結果、大学を職場にしようと思いました。その中でも東京大学は、規模も大きく知名度も高いので、東京大学の構成員として社会に大きな影響を与えられると思い、就職先として決めました。

犬飼　私の場合は、小さい頃から勉強が楽しいなと感じていて、自分が好きな「学ぶ」ということを支えたいという思いがありました。その中でも大学は、大学生が学ぶ場であると同時に、社会の発展にとって重要な研究という知の営みが行われる場でもあるので、その下支えができたならやりがいを持って働けると思いました。また、人事や財務といった一般企業と同じような管理部門の業務や、大学らしい教員や学生と関わる窓口業務など、様々なタイプの仕事ができそうだと期待し、東京大学で働くことを決めました。



―実際に働いてみてどうでしたか？

助川　入職前と入職後のギャップはあまり感じなかったですね。病院では研究支援業務の担当として、最前線で活躍している研究者の研究活動を実際に見ることができ、東京大学はすごい！ということを改めて実感しました。現在の薬学部では会計チームの一員としてバックオフィスで働いていますが、組織を支えていることを実感でき、病院とはまた別のやりがいを感じています。

犬飼　そうですね。私も、業務の全てが結果的にはこの東京大学の教育や研究を支えていることを実感しながら仕事をしています。これは東京大学で働く魅力の一つですよね。今後も様々な業務に携わっていきたいと思いますが、日々学生と接する学務系の業務にも一度は挑戦したいです。

助川　やはり学生と関わる業務に興味があって入職される方は多いですよね。私も今後の楽しみにしておきたいと思います。

※１科研費
科学研究費補助金等、独創的・先駆的な研究に対する国からの助成金のこと。

助川　諒
Ryo Sukegawa
所属　薬学部・薬学系研究科会計チーム

大学卒業後、平成２７年に東京大学に入職。最初の配属は本郷キャンパスの医学部附属病院。管理課研究支援チームにて科研費の受入れから報告までの管理を２年３ヶ月経験。その後、現在の薬学部に異動し、主に資金の出入管理や給与・旅費の計算等、経理業務を担当している。

犬飼　真奈
Mana Inukai
所属　人事部人事給与課人事制度チーム

大学卒業後、平成２７年に東京大学に入職。最初の配属は駒場Ⅱキャンパスの生産技術研究所。総務課国際交流チームにて主に外国人研究者の生活支援を３年経験。その後、現在の人事部に異動し、常勤教職員の採用から退職までの手続きや人事制度の運用を担当している。

People at UTokyo!

様々な分野で活躍する若手職員の声を聞き、東大で働くあなたの姿を想像してみてください。

研究推進
井澤　広樹　IZAWA Hiroki
研究推進部学術振興課

大学卒業後の2015年4月に入職。
工学系・情報理工学系等財務課及び
人事部人事企画課での勤務を経て、2019年4月から現職。

東大の更なる研究力強化に向けて 遠くから研究現場を捉え、変える

東京大学の研究力を強化するためにはどうすればよいでしょうか。

私の所属する学術振興課では、この課題について様々な角度から考える会議の運営や研究力強化に資する施策の検討・実施等を行っています。部局（各学部・研究科等）で研究支援業務を行う職員とは異なり、直接的に現場の教員を支援するわけではないですが、その分、業務を通じて東京大学全体に与える影響も大きいため、日々身の引き締まる思いで仕事をしています。

みなさんも、ぜひ一度、この難しい問題を一緒に考えてみませんか？

ある1日のスケジュール

9:00	始業	今日やることの確認
10:00	会議資料準備	ペーパーレス会議のためiPadを事前準備
11:00	課内打合せ	課内で現在の課題について認識共有
11:30	会場設営	裏方の仕事も丁寧かつ大切に
12:00	昼食	同期と美味しいうどん屋さんで腹ごしらえ
13:30	会議	円滑な会議進行のために尽力
16:00	資料修正	会議で出た意見をもとに資料を修正
17:00	関係部署への確認	他部署のコンセンサスを得るのも大切な仕事
17:45	退勤準備	明日やることの確認
18:00	退勤	今日も退勤後は映画館に。お疲れ様でした！

教育・学生支援
張　爽　CHOU Sou
教養学部等教務課国際交流支援チーム

大学院修士課程修了後の2014年8月に入職。
育児休業を経て、2019年4月に職場復帰。
現在の部署が最初の配属先。

留学生であった自身の経験を活かし 東京大学のグローバル化をサポート

私の部署では、留学生の受入れ手続き、奨学金や宿舎の申請手続き、在留資格関係手続きといった留学生支援業務全般のほか、海外派遣プログラムや海外留学のための奨学金の申請手続きなど、学生の海外留学支援業務も担当しています。

毎日コツコツ行う仕事が多く派手さはありませんが、ひとつひとつの仕事に責任感をもち、丁寧に対応することを心掛けています。学生たちが輝かしい笑顔で卒業の挨拶にきてくれた時は、こちらも幸せな気分になり、やりがいを感じます。

ある1日のスケジュール（育児のための時間短縮勤務）

8:30	出勤	メールチェック及び本日の予定を確認
9:00	問合せ対応	わかりやすく、丁寧な回答を心掛ける
10:00	係内情報共有	各々の業務状況を情報共有
10:30	窓口対応	国費留学生に国費期間延長申請手続きを説明
12:00	昼食	気分転換にキャンパス周辺や書籍部をぶらり
13:00	資料作成	打合せのための資料作成
14:30	電話対応	教員に留学生の受入れに関する手続きを説明
15:30	ウェブページ更新	留学生向け新着情報をアップロード
16:20	退勤準備	本日の進捗を記録し、明日の仕事を確認
16:30	退勤	長男お迎えのため、保育園へGO！

産学連携
泉　泰行　IZUMI Yasuyuki
産学連携部産学連携法務課利益相反管理チーム

大学卒業後の2010年4月に入職。
医科学研究所に配属後、社会連携部、民間企業への出向、
人事部を経て2019年4月から現職。

共同研究から学術成果の事業化まで 東京大学の産学連携を支える

産学連携の重要性が高まるなか、産学連携部では企業と結ぶ研究契約書の法務チェック、特許権など知的財産の管理、研究成果の事業化支援等によって東京大学の産学連携を支えています。私は所属する利益相反管理チームで、利益相反管理業務（産学官連携活動において、社会的信頼を損なう取引等が行われないようマネジメントを行う業務）をはじめ、研究契約書の法務チェックや法人の新規設立に関する業務を行なっています。日々の業務において、東京大学の研究が社会で役立っていることを実感します。

ある1日のスケジュール

8:50	出勤	新着メールと1日の予定を確認
9:00	始業	急ぎの案件について対応
9:30	契約書のチェック	知的財産の取り扱いを入念に確認
11:00	資料作成	学内委員会用の資料を作成
12:00	昼休み	お昼寝か読書
13:00	課内打合せ	課内の課題について打合せ
14:30	学内研修会準備	学内研修会の準備、案内メールの発出
15:00	学外打合せ	学外の方と進行中の案件の打合せ
16:00	メール対応	問合せ案件等に対応
17:30	退勤準備	明日以降のスケジュールを確認
17:50	退勤	自宅に帰る前にジムに立ち寄り運動

総務
和田　那津子　WADA Natsuko
大学院情報学環・学際情報学府総務チーム

大学卒業後、民間企業に就職。
その後、2014年4月に本学入職。薬学部会計チームを経て、
2016年7月から現職（うち約1年間の産育休取得）。

教育・研究のサラダボウル 高め合い美味しくなるには潤滑油も大切

情報学環・学際情報学府は、2000年に創設された大学院であり、所属する教員の約半数が他研究科等から期限付きで異動して来るという独自のシステムで運営されています。私の所属する総務チームでは教職員の採用や労務に関すること、教授会の開催や規則の制定に関することといった人事・総務系の業務全般を担当しています。

異なるバックグラウンドをもって集まった教員の教育・研究が円滑に進むよう思案する毎日です。和田さんに相談して良かったと言ってもらえるとやりがいを感じます。

ある1日のスケジュール（育児のための時間短縮勤務）

9:30	出勤	子育て中のため勤務時間変更
9:35	メールチェック	学内外からのメールに返信
10:00	窓口対応	労働条件通知書の説明と交付
11:00	研修通知	学内ポータルを確認し、対象者へ案内
12:00	昼休み	学食で同期とばったり遭遇し近況報告
12:45	メールチェック	小まめなチェックでスピード感も大切に
13:00	人事案件起案	採用に向け各種資料を準備
14:30	通勤手当の認定	通勤届の経路を調査し、手当額を算定
15:30	電話対応	勤務条件変更の相談に対応
16:00	会議資料の準備	教授会用の資料を準備
16:45	退勤	帰宅後の家事育児を考えながら帰路へ

財務
油本　啓太　ABURAMOTO Keita
生産技術研究所経理課予算執行チーム

大学卒業後の2018年4月に入職。
現在の部署が最初の配属先。

研究に専念できるよう 研究者を陰ながらサポート

研究現場における資産管理、調達・契約業務を主に担当しています。

私の所属する生産技術研究所は大学に附置された研究所としては日本最大級の規模であり、工学系を中心とした最先端の研究が行われています。多くの研究者が研究を発展させていく過程において、必要な物品を調達し、本学の資産として適切な管理をサポートする業務は重要かつ責任の伴う仕事であり、大規模な研究活動の一端に携わることのできる責任感、緊張感を持ちながら行える業務にやりがいを感じています。

ある1日のスケジュール

9:00	出勤	朝のメールチェック
9:30	資産贈与手続き	必要書類の作成、贈与先へ送付
10:00	問合せ対応	複合機の新規導入手続きについて説明
10:30	調書作成	本部からの照会への回答作成
12:00	昼休み	デスクでまったり気分転換
12:45	業者打合せ	次年度契約に関する打合せ
14:00	納品検収	研究室にて装置の納品立会い
14:30	伝票処理	細かいミスのないように注意
16:00	資産登録	毎月多くの物品が東京大学の資産へ
17:15	翌日の予定確認	翌日スムーズに業務に入れるように
17:30	退勤	仲の良い友人との飲み会へ

図書
塚本 麻衣子　TSUKAMOTO Maiko
教養学部等図書課情報管理チーム数理科学研究科図書室担当
大学卒業後の2016年4月に、国立大学法人等職員採用試験（図書）を経て入職。附属図書館柏地区図書課情報サービス係に3年間在籍した後、2019年4月より現職。

紙媒体から電子リソースまで
東大のあらゆる「知」を支える

私が現在行っている仕事は、図書室で受け入れている雑誌に関する業務です。毎日のように到着する雑誌のチェックイン、支払いのための伝票作成、契約に関する作業など、一口に雑誌業務と言ってもその内容は多岐に渡ります。雑誌業務は現職に就いてから初めて携わった業務なので、まだまだ至らない点もありますが、学術雑誌は教員の方々や学生さんの研究・学習において非常に重要な役割を担っているため、それを整備・提供していることの誇りと責任を感じながら日々精進しています。

ある1日のスケジュール

9:00	出勤・開室準備	開室時間(9:15)に間に合うように
9:15	メール等確認	メールや回覧物を確認
9:30	HPの更新	新しいお知らせの掲載や古い情報の改訂
9:45	掲示物の整備	図書室内のポスターやサインを整備する
10:00	雑誌到着	宅急便で届いた雑誌をチェックイン
11:00	書店への連絡	不良本の交換依頼等を行う
11:30	支払伝票作成	月末締めで雑誌の支払伝票を作成する
12:15	昼食	デスクでお弁当を食べる
13:00	カウンター	週に2回、半日カウンター業務を行う
17:00	引継ぎ	夜間アルバイトの学生に業務の引継ぎ
17:30	退勤	次の日の予定を確認して退勤

技術（施設系）
荒井　直人　ARAI Naoto
施設部計画課電気設備チーム
大学卒業後、民間企業に就職。その後、国立大学法人等職員採用試験（電気）を経て2018年4月に入職。現在の部署が最初の配属先。

施設整備を通してインフラの面から
安心して生活・研究が出来る環境を

施設部は、キャンパスにある建物の一生涯（新築・改修・取り壊し）に携わる仕事です。キャンパス内の施設を安全かつ快適に保つことで、学生・教職員の生活や最先端の研究を支えていく仕事でもあります。私が所属する計画課は、新築建物および大規模改修建物の設計・工事監理を担当します。利用者の方々からの要望を確認し、それをどの様に実現していくのかを考えながら仕事をしています。建物が完成し、実際に活用されているのを見た時の達成感はひとしおです。

ある1日のスケジュール

9:00	出勤	メール・予定の確認
9:30	現場定例	工事請負業者と打合せ
10:30	設計打合せ	設計事務所と打合せ
11:30	資料作成	午前の打合せで必要になった資料の作成
12:00	昼食	同期と外で気分転換
13:00	資料作成	報告資料を作成
14:00	積算業務	工事予定価格算出調書を作成
15:00	部局打合せ	工事に関係する部門と打合せ
16:00	問合せ対応	電気設備に関する問合せに対応
17:00	提出物の確認	工事業者や設計事務所からの提出物確認
18:00	退勤	翌日の準備を済ませて退勤

技術（情報システム）
中張　遼太郎　NAKAHARI Ryotaro
情報システム部情報基盤課スーパーコンピューティングチーム
大学院修士課程修了後、民間企業に就職。その後、国立大学法人等職員採用試験（電子・情報）を経て2017年10月に入職。現在の部署が最初の配属先。

最先端の研究開発基盤
スーパーコンピュータを支える

私の所属しているスーパーコンピューティングチームでは、東京大学情報基盤センターとして所有しているスーパーコンピュータ（スパコン）の運用や新規調達等を担当しています。2019年10月時点では3つのスパコンを運用し、合計で2000人以上の方にご利用いただいております。自然現象の分析・予測等の研究や創薬・医療の研究など幅広い分野で活用されており、スパコンの重要性は高まっています。そのようなスパコンの運用に携わることができ、非常にやりがいのある仕事です。

ある1日のスケジュール

9:00	出勤	利用者からのメールを優先してチェック
9:05	問合せ対応	1日平均約2～3件の問合せ
9:30	システム改修	利用者管理システムを部門で開発・運用
10:00	打合せ	打合せは比較的多い
12:00	昼食	柏キャンパスは選択肢の少なさが欠点
13:00	統計集計・分析	スパコン利用状況の統計を集計・分析
14:30	Web更新	「スパコン 東大」で検索
15:30	問合せ対応	最近は英語の問合せも増加
16:30	システム改修	空き時間を見つけては機能追加・改修
17:00	告知メール作成	講習会等のイベントを利用者に周知
17:30	退勤	週1～2回は学内のジムでトレーニング

Message from Leaders

変革を続ける東京大学で、組織を牽引し、
多くの部下を育ててきた幹部職員。
大学職員としてのキャリアを積んだ2名の大先輩に、
自らの仕事・職場に対する想いや、
みなさんへのメッセージを語ってもらいました。

先端科学技術研究センター事務長
熊澤　鉄也　KUMAZAWA Tetsuya
東京大学採用後、本部、学部、研究所、他機関等において、
主に調達・経理、財務業務に従事。
学部経理課長、本部課長を経て2016年4月から現職。

あらゆる可能性に探求の光を放つ
トウダイ（先端研）で、最先端の風を感じる！

ミニ東大と言われる先端科学技術研究センター（先端研）は、文系から理系、基礎から応用、そして社会実装まで広範な領域で研究が展開されています。現在、世界標準のインクルーシブ環境の創出にも着手しています。また、熊本県のPRキャラクター・くまモンも『せんたん🎅研究員』として活躍中です。このように多様な研究活動を事務職員と共に支援していくのが私の主な仕事です。先端研の「教授会セミナー」等において、今まさに進められている最先端の研究を聞いていると、自然と仕事に力が入ります。

＜どのような職員を採用、育成したいか＞

東大に興味または愛着があり、大学を通じて社会に貢献したいという強い志を持っている人に来ていただきたいと思っています。仕事上、新しいことにチャレンジしたり、問題解決を求められたりする場面があります。それを達成するためには、様々なスキルも大事ですが、何よりも乗り越えていこうとする気持ちが大切だと感じています。2019ラグビーワールドカップが日本で開催されましたが、それと同様に「One for all, All for one」の精神で、本学のビジョンを達成するため共に向上心を持って頑張れる仲間が増えることを期待しています。

＜皆さまへのメッセージ＞
本学で働きたいと思っている皆さん。ぜひ、そのエネルギーを東大というステージで発揮してください。さあ、皆さんの出番です。

教育・学生支援部国際支援課長
渡邉　千尋　WATANABE Chihiro
文部省採用後、2004年から東京大学にて勤務。
本部・部局、日本学術振興会において、学務、国際、大学評価、
研究者支援等の業務に従事し、2019年4月から現職。

グローバル社会で活躍する
知のプロフェッショナルの育成を支援します

国際支援課は、東京大学が推進している教育のグローバル化を支えるための業務を、幅広く所掌しています。具体的には、海外からの留学生の受入れ支援、例えば奨学金や宿舎などの経済的支援や、日本での学修、研究、日常生活に関する相談支援、日本語教育の支援を行っています。また、海外へ留学する学生の派遣支援も行っています。加えて、海外からの留学生と在学生との交流が活発になるよう交流支援も行っており、これらを通じて、異なる分野や文化を持つ多様な学生が関わり合い、対話し協働することから多くを学び、グローバルに活躍する知のプロフェッショナルへと成長することを支援しています。

＜今後の東大の展望（東大職員の可能性）＞

東京大学は運営から経営へと着想を変換し、私たち職員も経営意識を持って、教員と共にこの変換の加速に取り組んでいます。教職協働が推進されている中、職員への期待はとても高く、職員が担う範囲もこれまで以上に拡がっています。自分の力を試し、発揮できるチャンスは、自分次第でいくらでも得られます。東京大学が社会の中で、また、世界の中で、どのような役割を果たしていくべきか、職員も共に考えていくことが求められています。皆さんの持つ柔軟な発想力と行動力で、一緒にこの課題にチャレンジしましょう。

＜皆さまへのメッセージ＞
東京大学には皆さんの力を発揮できる仕事がたくさんあります。教育・研究の発展と学生の成長の支援に、ぜひその力を活かしてください。

CAREER SUPPORT

東大職員として成長する、とはどのようなことでしょうか―。
東京大学では、高い専門能力を持つ職員を育成し、
プロフェッショナルとしての力を発揮できる仕組みを強化するために、
ジョブローテーション、研修制度、自己啓発支援体制の充実を図り、
職員のキャリア形成をサポートしています。

■ ジョブローテーション ■

採用後は、2〜3年毎に学部、研究所、そして本部を行き来しながら、異なる分野の仕事を経験します。何箇所かの部署を経験した後は、個々の得意分野や適性を活かせる業務を中心にプロフェッショナルとしてのキャリア形成を目指します。また、学内での勤務だけでなく、文部科学省や民間企業での研修（1年）、他の国立大学法人や独立行政法人等への出向（2〜3年）を通じ、多様なフィールドで経験を積み、幅広い視野を得ることができます。

研修制度・自己啓発支援

■ 階層別研修
新規採用職員能力開発プログラムのほか、係員・係長級・副課長級・課長級研修、次世代リーダー育成研修といった役職や経験年数に応じた研修など、経験等に応じて必要な能力を身につける研修です。

■ 知識・技能向上研修
知的財産、財務会計（簿記／国立大学法人会計講座）、学務、科学研究費補助金、情報セキュリティ、人事・労務、URAなどの仕事の分野や職種に応じて、専門性を身につける研修です。

■ 海外研修
国際交流担当職員海外研修（1年）、他機関（文部科学省、日本学術振興会）が主催する各種海外研修では、現地の大学や機関での勤務を通じ、東京大学の国際化を担う職員として必要な専門知識や語学力を習得します。

■ 民間企業への研修出向
事務職員が民間企業での1年間の研修業務を体験することで、職員の意識改革と職務能力の開発・向上に資することを目的とした制度です。

■ 他機関への出向
文部科学省や他の国立大学法人等へ出向し、出向先機関の職員として業務に従事します（2〜3年）。多様な機関における業務を通じた新たな視点の獲得、職務能力の開発・向上、幅広い人脈形成等を目的としています。

■ 自己啓発支援
各種英語講座（TOEIC講座、英語ライティング等）の受講者、東京大学大学院の大学経営・政策コースや放送大学履修コース等の履修者、情報処理技術者試験の合格者などに対し、受講料・受験料の一部負担等様々な支援を行っています。

□ 海外研修（国際学術交流研修）

金山　慶祐　KANAYAMA Keisuke
経営企画部国際戦略課国際事業チーム
大学院修士課程修了後の2010年4月に入職。教養学部等教務課、人事部人事企画課を経て日本学術振興会（JSPS）国際学術交流研修に参加。2018年4月から現職。

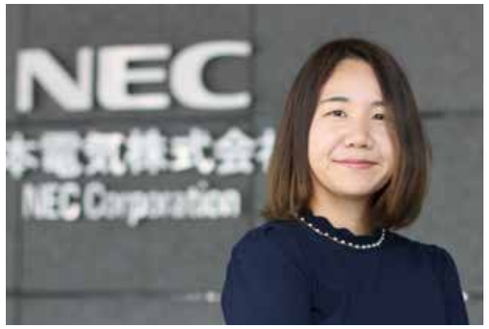
日本と世界の、学術をつなぐ

1年目のJSPS東京本部での研修では、国内外の若手研究者のための国際学術会議運営を担当しました。会議は5日間におよぶ合宿形式のもので、海外からノーベル賞受賞者を招待したり、100名を越える若手研究者同士が交流するためのプログラムを検討するなど1年がかりで準備を続け、大規模なイベント開催の準備の仕方や海外関係者とのやりとりの仕方を学ぶことができました。

研修2年目はフランスのJSPSストラスブール海外研究連絡センターにて勤務し、センター運営のための会計関連業務やシンポジウムの開催、JSPS本部の研究者支援制度の広報活動など、多岐にわたる業務を経験することができました。文化・慣習や仕事の進め方など国内とはまったく異なる環境でしたが、以後の自分の大きな糧となりました。

この研修に参加するまで国際系の業務に携わったことがなかったため不安もありましたが、1年目には他大学職員や文科省関係者、2年目にはフランスの研究者や高等研究機関の事務担当者等と一緒に仕事をすることができ、東京大学を外から見つめ直す貴重な契機となりました。現在私は東京大学と海外大学とのパートナーシップを構築するための全学的なプロジェクトを担当していますが、この研修での2年間の経験が役立っていると感じます。

□ 民間企業への研修出向



二川　奈津美　NIKAWA Natsumi
日本電気株式会社
大学院修士課程修了後の2016年4月に入職。教養学部等総務課人事係にて教職員の採用・退職に関する業務を担当した後、2019年4月から現職。

新たな視点がこれからの大学を創る
ー企業の変化から学ぶ課題発見術ー

日本電気株式会社（NEC）へ研修出向しています。1年間で4つの部署を経験し、ダイバーシティ推進（LGBTに対する理解・支援諸施策、障がい者雇用促進、女性の活躍推進、人権啓発など）、NECバレーボールチームの運営事務局、台風被害への対応や安全衛生、健康経営など幅広い業務を担当しています。社外イベントへの参加も多く、様々な企業の方と交流し、人脈を広げることもできました。

大学職員に興味のあるみなさんは、企業と大学では仕事内容も働く環境も異なっており、出向に意味があるのか不思議に思っている人もいるのではないでしょうか。実は、急速に変化する社会や人々の考えに対し、企業も大学も同じように変化を求められています。NECは多様な人材を取り入れ活用することで、今までの経営における課題を発見し、その解決のために会社全体が急速に変化しています。会社の経営課題に関わることで、様々な立場の社員の視点や考えを知ることができ、社員の一人として自分の意見を他者にうまく伝える方法や、意見の根拠となるデータの収集方法なども学ぶことができました。

組織の課題は「それが当たり前」になった途端に見えにくくなってしまいます。企業で働くことは、大学をより良くしていくために解決すべき課題を発見する、新たな視点を手に入れることにつながると思います。

□ 他機関への出向

酒田　慎也　SAKATA Shinya
独立行政法人国立美術館
国立西洋美術館総務課（会計担当）
修士課程修了後の2009年4月に入職。研究推進部、医科学研究所で研究推進系、調達系業務に携わり、2017年7月から現職。

外の空気を吸って、新たな経験を

上野公園にある国立西洋美術館で、経理、調達、決算、資産管理を中心に会計業務全般を担当しています。小さな組織なので、東京大学では複数の部署が分担している大小様々な業務を一手に担うことが求められ、経験のない業務に取り組むこともしばしば。やりがいと同時に大きな責任を感じます。

中でも美術作品の購入は美術館の根幹ともいえる業務です。特別な予算措置によりルネサンスやバロック、印象派などの西洋絵画を年に数点購入し、常設展示の充実を図っています。選考委員会を開催して専門家に評価いただき、海外の画商との契約締結や送金、通関手続きなどを担当した作品が展示されると感慨深いものがあります。

大学では経験できない業務に携わり、接点のなかった業界に触れて刺激を受けられるのは、他機関で働く大きな利点です。業務への習熟につれて仕事の仕方や考え方が固定化しがちなところで、新たな環境に身を置き、大学とは違う視点で考えて仕事をするのはとても有益だと思います。設置目的や制度の違いから、同じ会計の仕事でも大学と美術館で異なる点も多く、知識や経験則を見直す契機にもなっています。大学をとりまく環境が急速に変化し、今まで以上に広い視野や柔軟な発想が求められる中で、出向は自身の経験の幅を広げてくれる貴重な機会だと思います。

勤務条件・福利厚生　Working Conditions & Benefits

業務の能率向上やワーク・ライフ・バランスの実現など、
充実した職業生活を送れるように勤務条件等を整備しています。

◎給与
・初任給予定額（教育研究連携手当含む）
4年制大卒　／月給217,729円
修士修了　／月給233,622円
博士修了　／月給252,503円
※本人の職歴等に応じてこれより高く決定される場合もあります。
※2020年2月1日現在の給与規則に基づき、予定額を掲載しています。
・昇給　年1回

◎契約期間
期間の定め無し

◎諸手当、賞与
・扶養手当、住居手当、通勤手当　等
・賞与　年2回（夏季、冬季）

◎勤務地
原則として東京または千葉
※ただし、キャリア形成の過程で、全国にある附属施設や他機関等で勤務する可能性があります。

◎勤務時間
8:30〜17:00（実働7時間45分）
・休憩時間　12:00〜12:45
・所定時間外労働　あり
※勤務時間及び休憩時間については、職種や勤務場所により異なる場合があります。

◎試用期間
採用された日から6月間。試用期間中と試用期間後で、労働条件・待遇などの変更は原則ありません。ただし、試用期間中の職員については、休職の規定を適用しません。

◎休暇
完全週休2日制、年次有給休暇、産前産後休暇、介護休暇、リフレッシュ休暇、子の看護休暇、結婚休暇　等

◎社会保険
年金、健康保険（文部科学省共済組合※）、雇用保険、労災保険
※年金、健康保険の他、給付（出産等）、積立貯金、貸付など各種福祉事業が受けられ、国家公務員共済組合連合会の直営病院や全国各地に所在する宿泊施設等を利用することができます。

◎健康診断
雇入時、定期、特殊等の法定健康診断に加え、胃、婦人科等の検診も実施しています。

◎学内施設
昼休み、勤務時間終了後や休日に、学内のジム・テニスコート・グラウンド・プール等の体育施設や附属図書館を利用することができます。

◎宿舎
教職員専用の宿舎（世帯用）があります。

採用情報　Recruitment

東京大学では、多様な人材を採用するため、主に２種類の職員採用試験を実施しています。

	東京大学職員採用試験	関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験
概要	東京大学の事務系業務に従事する職員を採用するための本学独自の試験	関東甲信越地区の国立大学法人等の事務系、図書系、技術系の業務に従事する職員を採用するための試験
受験資格	以下の（１）または（２）の条件を満たし、ビジネスレベル以上の日本語力を有すること （1）2017年4月〜2021年3月に4年制大学を卒業/卒業予定の方 （2）2017年4月〜2021年3月に修士課程または博士課程を修了/修了予定の方（博士課程は同期間に単位取得満期退学/単位取得満期退学予定の方を含む）	1990年4月2日以降に生まれた方
採用数、選考プロセス	最新情報は、東京大学職員採用情報ホームページをご覧ください。 https://www.u-tokyo.ac.jp/recruit/info/index_j.html	
求める人材像	・東京大学の公共性を自覚し、教育研究の国際的な推進に使命感を持って働ける方 ・柔軟な姿勢で、組織や業務の改革に意欲的に取り組める方 ・専門性や技能など、自らの能力を高め、主体的に発揮できる方 ・様々な大学構成員と協働し、チームワークで職責を遂行できる方	

緑豊かなキャンパスで、働く

学部1,2年生が学ぶ駒場、
学部3,4年生から大学院までの教育と研究を行う本郷、
新たな学問分野の創造を目指す柏。
東京大学には主要な拠点が3つあります。
場所も雰囲気も異なるこれらのキャンパスですが、
どの勤務地にも緑豊かな環境が整い、通勤時はもちろん、
緑を眺めながら仕事ができる職場も存在します。
生産的に仕事を進めていくためには、快適に働くことのできる環境も大切です。
東京大学のキャンパスを、あなたの仕事場にしてみませんか。

インクルーシブなキャンパスを目指して

UTokyo FSI
The University of Tokyo Future Society Initiative

編集・発行
2020年3月1日発行
国立大学法人東京大学
本部人材育成課職員採用チーム
〒113-8654　東京都文京区本郷7-3-1
TEL：03-5841-1975、2317
FAX：03-5841-2065
Email：shokuinsaiyo.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

本冊子に掲載されている情報は、特に注意書きのない限り、
2019年12月現在のものです。
Design：上原 勝哉
Photographer：Shigeo Ogawa（P3/P5安田講堂）
Printing：石田大成社
Copyright：東京大学TAOプロジェクト（P5アタカマ天文台）

MORE INFORMATION
東京大学職員採用情報ホームページ
https://www.u-tokyo.ac.jp/recruit/info/index_j.html

東大を創ろう